平成19年度各会計決算を認定

市議会9月定例会が9月4日に招集され、24日までの21日間の会期で開かれました。上程された議案は、教育委員会委員の任命や固定資産評価審査委員会委員の選任、顕彰の授与や、平成19年度一般会計および各特別会計決算認定、平成20年度一般会計および各特別会計補正予算など32件です。すべて原案のとおり可決、承認されました。

上程された主な議案

◇にかほ市顕彰の授与

にかほ市に多大な功績のあった次の4氏に対し顕彰を行うことが可決されました。

巴　　徳　雄氏（院　　内）
金　　巌氏（中　橋　町）
佐々木　松　美氏（十二林1区）
佐　藤　孫　一氏（北金浦2区）

※4氏の功績については、次号で紹介します。

◇教育委員会委員の任命

11月30日で任期満了となる武田國彦氏（新町1区）を引き続き任命することについて同意されました。

武田國彦氏

◇固定資産評価審査委員会委員の選任

11月30日で任期満了となる伊藤元氏（南金浦区）、大須賀等氏（院内）、佐々木亮子氏（立石1区）の3名を引き続き選任することについて同意されました。

伊藤元氏

大須賀等氏

佐々木亮子氏

主な陳情等の審議結果

○議員報酬額引き下げ（平成20年3月21日議決前に戻す）を要求する陳情書

本会議で審査され、賛成、反対の立場からそれぞれ討論があり、その後、起立採決により賛成少数で不採択となりました。

主な市政報告

◆日沿道の整備促進について

「象潟仁賀保道路」および「仁賀保本荘道路」の整備区間については、順次、計画的に整備されているところですが、来年度から、「道路特定財源」が「一般財源化」することが、閣議決定されています。

また、「一般財源化」と平行して、国土交通省では新たな道路整備計画として、「中期五カ年計画」の策定作業を進めており、この計画に「酒田みなと象潟間」の整備を位置付けしていただくために、7月下旬には山形県遊佐町と、8月上旬にはTDKおよび地元企業の代表者とともに、国土交通省に要望活動を行ってまいりました。

さらに、8月下旬には「日沿道整備促進秋田県南部期成同盟会」として、財務省や国土交通省、関係国会議員に要望活動を実施していますが、引き続き整備促進を図るために、要望活動を展開してまいります。

◆にかほ市誕生三周年・象潟中学校竣工　記念式典

「にかほ市誕生三周年・象潟中学校竣工記念式典」を10月1日に開催する予定です。

この式典において、これまで各分野で市の発展にご尽力された功労者に対し、顕彰ならびに表彰を行い、併せて象潟中学校の竣工をお祝いすることとしています。

象潟中学校校舎

◆普通交付税について

20年度の普通交付税は、43億1、419万2千円と算定され、前年度決定額に対し、約1・2パーセントの5、058万9千円の減となっています。

当初予算では、今年度から、財政状況の厳しい地域に重点配分するための特別枠として「地方再生対策費」が創設され、地方財政計画で対前年度比1・3パーセント増とされていましたが、本市では、今年度の基準財政需要額において、交付税措置対象の地方債償還の終了などで減少が見込まれたことから、対前年度比約3・8パーセント減の42億円を計上したところです。

◆ふるさと納税について

6月定例会で、ふるさと納税制度の受け皿として「にかほ市みらい創造基金条例」を制定しましたが、8月末日現在での寄附金申し込み件数は、36件、総額130万2千円で、これまで納入いただいた寄附金は、17件の総額90万6千円となっています。

制度の周知として、ふるさと会会員約2千9百名にリーフレットを郵送していますので、さらに寄附金が集まるものと期待しています。

寄附金の活用については、寄附金の状況を見ながら、次年度以降に具体的な使途、事業計画を検討していきたいと考えています。

◆由利地域観光振興の連携について

県は、平成20年度を初年度とする、3カ年の「観光振興アクションプラン」に基づく取り組みとして、8月1日に由利地域振興局地域企画課内に『鳥海まるっと観光振興班』を新設しました。

県では、地域一体となった取り組みを行う必要があることから、本市と由利本荘市に対し、職員の派遣要請があり、職員を1名派遣したところです。

今後、本荘由利管内の特徴ある観光資源を効果的に結びつけ、山形県庄内地域との連携を強化しながら、観光客のニーズに対応したメニューの開発と、情報発信への取り組みが強化され、観光振興が強力に推進されるものと期待をしているところです。

◆稲作の生育状況について

6月中旬まで平均気温が低く、生育が心配されましたが、6月20日過ぎから好天に恵まれたことから、生育は平年並みとなり、出穂期は地域・ほ場により差はありますが「ひとめぼれ」で平均して8月5日頃となりました。

8月に入り、日中の最高気温が30度を超える日があった一方で、夜の温度が下がる好条件が続き、稲の登熟は順調に進んだものの、8月後半からの低温で、今後の登熟の進み具合がやや心配されています。

生産調整目標は、本市では、米の生産面積の上限が、昨年より更に18ヘクタール少ない、2、248ヘクタールとされましたが、農家のご理解と米以外の作物作付けによって、上限を2ヘクタール下回る見込みとなり、本年度も達成が確実となっています。

◆集中豪雨被害について

8月21日未明から降り続いた雨は、午前7時頃から更に強まり、7時から11時までの雨量が45ミリに達し、10時10分に「大雨警報」が発表されました。

また、10時52分には「土砂災害警戒情報」も発表され、市内において災害が発生するおそれが高まり、11時16分に「にかほ市災害警戒部」を設置し警戒にあたりました。

この雨による被害は、道路の冠水による一時的な通行止めが鈴地区、金浦竹嶋潟バイパス下、赤石ガード下、象潟前川線の4カ所でしたが、その後、雨もおさまり、順次、通行止めを解除しています。

また「にかほ市災害警戒部」は、大雨警報および土砂災害警戒情報も解除されたことから、午後3時30分に解散しています。

災害発生の状況は、太郎ケ台林道で法面の崩落が2カ所、中ノ沢地区の農地災害1カ所を確認しており、被害額は概算で800万円となっています。

次ページへ続きます